

# 山口 IYEO だより



発行 山口県青年国際交流機構  
平成23年2月

定例会



投入堂まで登  
りました！！



★中国ブロック  
大会★



## 1. ごあいさつ 山口 IYEO 会長 山田 耕慈

日増しに春の訪れを感じられるようになりました。会員みなさまは、いかがお過ごしでしょうか。

今年度も、派遣事業へ参加希望している青年たちが、応募前から活動に参加、協力しています。定例会もたくさんの仲間が集まり、活動が活性化しています。今後とも、会へのご理解、ご協力をいただきたいと思います。



## 2. 今年度、日韓派遣に行ってきました。(派遣期間：2010年9月2～16日)

### 平成 22 年度日本・韓国青年親善交流事業の報告（1）

高橋 優子

日韓併合から 100 年の節目となる 2010 年、平成 22 年度韓国派遣団一行は 9 月 2 日から 16 日までの 15 日間、韓国を訪問しました。訪問都市はソウルをはじめ、天安、高興、順天、麗水、求礼、水原、高陽などで、韓国の中では京畿道、忠清南道、全羅北道、全羅南道といった西側の地域を回りました。

訪問先も多岐にわたり、行政関係では女性家族部（韓国政府の省）、韓国青少年団体協議会、順천시役所を表敬訪問し、施設や企業では、国立高興青少年宇宙体験センター、2012 麗水世界博覧会広報館、サムソン電子、KBS 水原センターなどを訪問。各訪問先では丁寧な説明を受けた後、活発な質疑応答を行い、それぞれの分野における韓国についての見識を深め、日韓の比較に大いに役立ちました。

歴史に関連した訪問先は、朝鮮王朝時代の村で今でも人々が生活を営んでいる樂安邑城民俗村、華嚴宗総本山の華嚴寺、朝鮮王朝時代の宮殿を復元した景福宮と水原華城行宮など。また、民族衣装試着や料理体験、伝統芸能の舞台鑑賞に野球観戦もプログラムに入っており、韓国文化の過去と現代の側面を、実際の体験も交えながら肌で感じることができました。

2 週間の韓国滞在中でとりわけ私の印象に残っているのは、高陽での 2 泊 3 日のホームステイと、順天とソウルでのユネスコ異文化理解講座です。ホームステイは、派遣期間中に各団員が団から離れて過ごす唯一の時間です。私はホストファミリーの一人ひとりと共通の関心事や趣味があり、相性のいいホストファミリーにあたったと思っています。ホームステイ中はソウル観光から軍事境界線訪問、家族みんなでの映画観賞と、短い時間の中でいろんな経験をさせてもらいました。またクリスチャンの家族で、カトリック、プロテスタント両方のミサに連れて行ってくれましたが、国民の 30% 近くがクリスチャンである韓国社会の一面を垣間見れたようで、キリスト教に親しみのある私には特に貴重な経験となりました。また、フランスやアメリカに住んだことのある家族だったせいか、日本でもよく聞くいわゆる教育熱の過激な家庭というわけでもなく、良い意味で国際感覚の豊かな家庭だったので、韓国家庭の多様化を実感した機会でもありました。

ユネスコ異文化理解講座は、男子高校と中学校の 2 カ所で開催したものです。内容は、日本文化や日韓比較についての〇×クイズに始まり、剣玉、福笑い、紙風船といった日本の伝統的な遊びの実演と体験を交えた紹介、ソーラン節のパフォーマンスなど。私は企画と当日進行の担当になりました。準備は派遣出発前のみならず派遣期間中も継続しなければならぬほど大変でしたが、私自身が子供の頃から国際交流に関心があり、また未来の世代の育成にかかわることにも関心があるので、とてもやりがいのある行事でした。

派遣プログラムには、政府事業であるがゆえに、訪問先での質疑応答の際に無意識のうちに質問内容を「制御」していたり、期待に反して植民地時代に関連する内容がプログラムに盛り込まれていなかったりと、個人的に残念な面もありましたが、政府事業だからこそ行けた所、体験できた事が多くあったのも事実です。

## 平成 22 年度日本・韓国青年親善交流事業の報告（2）

### 「絆」

伊藤 健太郎

私が韓国派遣に参加して得た、1 番の財産は「絆」です。ありきたりな「絆」という言葉ですが、今の私にはそれしか思いつきません。

2010 年度韓国派遣に内定し、ともに韓国へ行く仲間と出逢った事前研修。バックグラウンドも応募動機もバラバラ、思いの強さもバラバラで最初は戸惑いました。事前研修では、国際儀礼や韓国についての講義、世界青年交流会議への出席、韓国大使館韓国文化院への訪問など、様々なプログラムがありました。中でも 1 番時間をとるのが、団員のみで進行する団別研修でした。団別研修では団のスローガン決め、韓国で披露する文化発表内容の話し合い、各事項の決定など、ほとんどを団員のみで話し合います。当然ながら反発しあったり、話し合いが平行線をたどったりしました。しかし、そうやっていつでも本音で話し合えたからこそ、ご飯のときや夜はみんな仲良く楽しく過ごすことができ、最高の仲間と出逢えたと感じました。

事前研修が終わってから 2 カ月ぐらいが過ぎ、韓国へ派遣されると、そこには常に韓国青年の姿がありました。空港に着いてから、表敬訪問や体験プログラムを終えて夜ホテルに帰ってからも韓国青年たちは私たちを待っていて、少しでも長く交流しようという強い意志を見せてくれました。多くの青年がソウルに住んでいる中、各地方に行ってもそれは同じことで、アフリカに派遣される青年や地元の高校生など様々な人との出会いがありました。ここでは語りつくせないくらいの出逢いがあった、感謝してもしきれないくらい感謝でいっぱいになる、それが韓国派遣だと思います。

この派遣には様々なメリットがあります。政府の派遣ということで、韓国では政府要人しか入れないようなところを訪問することができ、表敬訪問など通常では体験しえない経験をすることができる、手厚い待遇があります。それだけでも素晴らしいのかもしれませんが、これからは長く付き合い、本気で意見をぶつけ合うことができる相手と、日本と韓国双方で出逢ったことが 1 番の成果でした。これから韓国との絆を強くし、世界中にこういった輪を広げていきたいと思っています。



### 3. 各支部の、活動の様子です。

#### (1) 柳井支部活動報告

柳井支部 宗廣宜之

柳井支部は、会員相互の親睦を図りながら、韓国釜山大学日語日文学科の学生との交流（白壁国際交流事業）などの活動をしています。

今回は、支部独自の活動である白壁国際交流事業について報告します。

この事業は、平成 3 年の日韓青年親善交流事業参加青年の受け入れがきっかけで始まりました。H 2 2 年度は 7 月 2 8 日から 8 月 2 日の日程で、8 名の学生が柳井を訪問、ホームステイ、企業見学、金魚ちょうちん作製体験、韓国料理教室などのプログラムを通じて、地元青年と交流を深めました。また、今回は朝鮮通信使ゆかりの地「上関」を訪問、地元の方から交流の歴史について話を聞き、日韓両国の絆の深さ、大切さを学びました。



この事業では、企画等の面で柳井西 R C、山口県柳井地区日韓親善協会の協力もいただいています。一支部で 1 9 年間事業を継続できたのも、多くの方々の支え、協力があったおかげだと感謝しています。この事業も来年で 2 0 年の節目を迎え、何か記念に残る行事ができればと考えているところです。交流に興味のある方、気軽にご連絡ください。



## (2) 萩支部活動報告

### マレーシア鉄道の車窓から

萩支部 香原和雄



ガイドブックにもない小さな駅に停車すると、どこからとなく物売りのおばさんが乗り込んできた。言葉もわかりません。

外国人に自分達で作った食べ物を売っている。マンゴーパイヤ、焼きバナナ。竹の筒に入ったご飯、焼き鳥、焼き魚など、商魂たくましく見ているだけでおもしろい。私は紙コップに入ったコーヒーと焼き鳥を買ったらどちらも20バーツ約60円。

列車が走りだしてコーヒー飲もうとしたら、中身は半分になっていた。車両の横ゆれでこぼれたのだ。(スイングするのは音楽だけにしてほしいもの。) タイ人に言わせればこれも、『マイペンライ』です。

私は2010年10月にマレーシアのペナン州、パタワースからタイのバンコクまで約1000kmを1泊2日かけて国際列車の旅をしました。運賃は2等寝台で300リンギット(約7500円)でした。出発の前日に駅の窓口で予約をしなければなりません。窓口では、簡単な英語で予約ができます。

すべて座席指定でlowerかupper、どちらにするか聞かれます。upperは、上段ベットでクーラーの噴出し口が近くにあり冷えすぎるので私はlowerを予約しました。

出発から2時間すれば国境の駅パタンバサールです。ここではすべての人が下車、マレーシアの出国と、タイの入国審査が同時におこなわれます。この町は国境だけあってマレーシアとタイの文化が同化しています。40分後列車は走りだしマレーシアをあとにしました。

タイ領内に入ると車窓は変わり田園の中にヤシの木が、目だちはじめます。線路脇には野生のバナナが黄色くなっています。いつの間にか夕日があられ山々が銀色に、輝いて見えます。まるで絵の中にいるようにきれいです。

列車の中では夕食の準備ができた用で乗務員が予約をとりよきた。この列車には外国人バックパーカーも多く、車内がにぎやかになってきました。イタリア、ドイツ、タイ、スペイン…いろんな国から来ています。

次回はハジヤイからレポートします

## (3) 岩国支部活動報告

毎年恒例☆いも煮会開催

岩国支部 和田 太

平成22年11月14日(日)、和田邸にて毎年恒例の芋煮会を開催し、岩国地区会員とその家族が集まり懇親を深めました。

年齢層は孫世代まで幅広い参加となりました。

次回は4月にレンゲ祭を行う予定ですので、山口IYEO会員の皆様、ご家族お友達をお誘いあわせのうえお気軽にお越しください。



#### 4. 国際理解推進講師派遣事業

##### 『国際理解推進講師として招かれて』

河村 律子

去る十一月二十二日、山口市立小郡南小学校六年生を対象に、私の国際交流に関わる経験をお話させていただく機会をいただきました。

私は世界青年の船に参加してからもうずいぶんと経っていますので、何のお話をさせていたどうか迷いましたが、今回は、三年前に小島富美子先生のネパール教育支援活動に同行させていただいた体験を中心にお話しました。

児童の皆さんの興味をひけるかなとネパールの民族衣装をまとい、世界青年の船に参加したこと、山口でも国際交流の機会があるということなどを紹介し、メインのネパール訪問の話題へ。大きな画面で写真を見てもらいながらお話をすると、皆さんやはり興味を持ってくださるようで、一生懸命に聞いてくれてるのがとてもうれしかったです。緊張し言い残したこともあるような気もしますが、無事に講演を終えることができました。

私たちが内閣府の国際交流事業で体験したことや、そこからつながる国際交流の経験は、できれば自分だけのものにせず、「伝える」ことも大切だと思います。世界のどんな人たちと出会ってきたのか、何のために世界の人たちとつながりたいのか、そこから何を得たのか。「伝える」ことで自分自身が振り返ることができます。そして、未来の「国際人」が誕生するきっかけになればいいなと思うのです。

この度は貴重な機会をありがとうございました。

#### 5. 東南アジア青年の船 地方プログラム受け入れ

平成 21 年度東南アジア青年の船 受け入れ報告～山口のよさを伝えよう～

東南アジア青年の船山口プログラム

実行委員長 山本恵

平成 21 年 10 月 29 日から 11 月 1 日の 4 日間、「東南アジア青年の船」の受け入れを行いました。私たちは、山口県のよさを伝えられるような受け入れにしよう！と春から実行委員会を立ち上げ準備してきました。

受け入れ初日、東京での研修を終えて宇部空港に降り立った東南アジアの青年たちは皆、新型インフルエンザ対策のマスク姿で少し緊張したように感じました。そこから、湯田温泉のホテルまで行き、夕食はグループに分かれて、湯田温泉を散策しました。私もグループに参加し、東南アジアの青年たちと回転ずしを食べに行きました。初めて見る回転ずし



に興味深々で、カメラで何枚も写真を撮っていた青年の姿が印象的でした。他のグループもうどんやラーメン、お好み焼きなど好きな日本食を食べたり、ゲームセンターやコンビニに立ち寄ったりと地元の大学生に案内され、日本の生活を知る機会が持てたようです。ホテルに戻ってきた青年たちは皆笑顔で、緊張がほぐれたように感じました。

2 日目は、県庁での表敬訪問を終えた後、徳地の重源の郷に向かい、山口の地元青年たちとの交流を行いました。重源の郷では、

紙すき、竹とんぼ作り、藍染めのグループに分かれて日本文化を体験しました。山口大学、山口県立大学、下関市立大学など山口の青年が約 30 人参加し、東南アジアの青年たちに丁寧に説明をしていました。どのグループもとても素敵な思い出の作品が出来上がり、また各班での絆も深まりました。



3日目、4日目はそれぞれの家庭に分かれてホームステイを行いました。どの家庭もとても親切にしてくださり、最終日に空港に集合した青年たちはとても喜んでいるとともに山口の家族との別れを惜しんでいました。

今回の受け入れは、新型インフルエンザの流行と重なり、日本青年の地方プログラム参加が取りやめになったりと当日まで気の抜けない状況でしたが、山口 IYEO の皆様をはじめ、参加して下さった県内の多くの学生のみなさん、ホストファミリーの方、受け入れ先の施設の方々、センターや内閣府の担当の方の臨機応変な対応により、無事終えることができました。交流の場面を多く設けたことで、山口のひとのあたたかさの伝わるよい受け入れになったように感じます。学生最後の年にこのような貴重な体験をさせていただいたことに感謝し、山口プログラムの報告といたします。ありがとうございました。

## 6. 会費納入のお願いします☆

会の活動の内容や主旨をご理解の上、年会費の納入をお願いいたします。

お預かりした会費は、定例会、会員間の情報提供など、活動の充実のために有効活用させていただきます。尚、会計報告は、次年度総会にてお知らせします。

会費：一口1,000円（一口以上からの納入）

### 【会費振込先】

1. 山口銀行 県庁内支店 普通 6001748 山口県青年国際交流機構

2. ゆうちょ銀行 支店名558（ゴゴハチ）

普通 0528170 山口県青年国際交流機構

## 7. メーリングリストに参加しませんか？

### メーリングリストに登録すると…

- ① 定例会や、各支部の情報（案内や議事録）など、広報誌ではお届けしきれない情報をお届けすることができます。
- ② 登録している会員に、活動の情報を発信することができます。

### 登録するには…

メーリングリスト管理者/会長・山田 (yamado1984@yahoo.co.jp) まで、登録を希望するメールアドレスを記載して、メールをお送りください。  
※情報量が多いため、パソコンのアドレスでの登録をお願いします。



いっしょに活動しましょう！！

待ってま〜す！！

(山口 IYEO 一同)